

イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率検定結果について

ウイルス 保毒虫率 (%)	低い
イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率 本年：0%（平年：2.2%）	

本年の調査地点7か所におけるヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率は、**0%（平年 2.2%）**でした。平年と比べ、本ウイルスの保毒虫率は低い状況となっています。

ただし、縞葉枯病罹病性品種を作付しており、かつ箱施薬を行っていない水田では、本田防除を行ってください。

表 イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率検定結果

調査地点	保毒虫率 (%)			
	R3	R2	R1	平年
岐阜市又丸	0	-	0	2.3
羽島市	0	-	1.0	2.8
北方町	0 ^{*1}	-	0	0.7
海津市	0	-	0	2.0
神戸町	0	-	0	3.1
大野町	0	0	0	2.4
関市	0	1.0	0	2.2
平均	0	0.5 ^{*2}	0.1	2.2

*1：R3北方町の検定数は、59頭で実施（他は、1地点当たり96頭）

*2：R2は、2地点の平均値

-：未実施

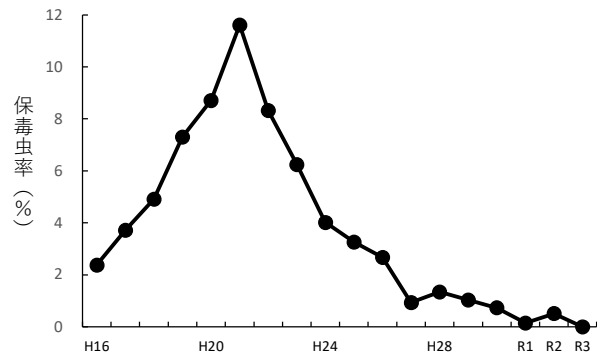


図 イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率年次推移

(備考)

- ・簡易ELISA法による検定 ※H26までは高比重ラテックス法による検定
- ・小麦ほ場で採取したヒメトビウンカ幼虫を供試
- ・供試虫採取 令和3年5月中旬～6月上旬
- ・検定 令和3年6月4日～6月10日（確認のための追加検定 6月11日～6月16日）

- ・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。

農薬登録情報検索システム

<https://pesticide.maff.go.jp/>

- ・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。

岐阜県病害虫防除所

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>